

科目区分：人文・社会科学科目

授業科目名	社会と歴史（西洋古代・中世史）				学期	曜日	校時
英語名	Society and History (Ancient and Medieval History of Europe)						
担当 教員名	堀井 健一	単位数	2単位	必修 選択	選択	前期	水曜日 3校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>本講義の主題は「西洋古代・中世の歴史概論」とし、教養としての古代ギリシア・ローマやヨーロッパ中世の社会について学びます。授業の目標は、西洋古代・中世の歴史を説明できるようにすることと就職試験対策としての教養の歴史の一部を学ぶことです。また、教育学部教員養成課程の学生にあっては中学社会・高校世界史の免許取得に備えて世界史の一部を学習することができます。</p>							
テキスト、教材等							
<p>テキスト：『西洋の歴史 古代・中世編』（ミネルヴァ書房） 他にプリント資料を配付する。</p>							
対象学生	成績評価の方法				教員研究室		
全学部	定期試験（55%）、課題図書読後レポート（20%）、調べレポート（10%）、授業への参加状況と（歴史用語の予習内容の）発表（15%）						
授業計画							
<p>第1回 オリエンテーション、「歴史とは何か？」 第2回 古代ギリシア～ポリス世界 第3回 古代ギリシア～アテナイ国制史 第4回 古代ギリシア～戦争と同盟 第5回 古代ギリシア～アレクサンドロスの遠征 第6回 古代ギリシア～ギリシア文化の成立と展開1～哲学者について 第7回 古代ギリシア～ギリシア文化の成立と展開2～演劇について 第8回 古代ローマ～共和政時代 第9回 古代ローマ～元首政と帝国 第10回 古代ローマ～帝国の分裂とキリスト教 第11回 中世ヨーロッパ～封建社会の展開 第12回 中世ヨーロッパ～中世都市の成立 第13回 中世ヨーロッパ～12世紀ルネサンス 第14回 ヨーロッパの歴史と地域性 第15回 期末試験</p>							
<p>上記の計画はあくまで予定であり実際は計画の変更があるかもしれません。</p> <p>〔予習〕あらかじめテキストの該当個所を読んだ上で指定された歴史用語を調べておく。調べた歴史用語は授業時に発表してもらいます。また、調べた内容はレポートとして提出してもらいます。 〔課題図書読後レポート〕7月初旬を目途に課題図書の読後の感想などをレポートに書いて提出してもらいます。 〔補足の説明〕 ・上記の予習・読後レポートの2つで歴史用語などの語彙を習得し、また考えて書く力を養います。 ・定期試験は、指定された歴史用語を説明する形で答えてもらう試験を予定しています。 ・上記の成績評価の方法は、あくまで目安です。</p>							
<p>オフィスアワー（質問受付時間） 水曜日の2校時、木曜日の3校時 教員研究室にて</p>							